

宇喜田公園マネジメントプラン

宇喜田公園の管理運営、整備等の取組方針

平成27年3月

東京都建設局

目次

はじめに	48-3
I 宇喜田公園の基礎的事項	48-4
1 都市計画等	
2 過去の取組の成果等	
3 社会状況等の変化	
II 宇喜田公園の開園概要	48-6
1 開園区域の概要	
2 利用状況等	
III 宇喜田公園の目標と取組方針	
1 むこう10年間を見据えた主な目標	48-7
2 取組方針	48-8
(1) ゾーン別基本方針（ゾーン別基本方針図共）	
(2) 維持管理の取組方針	
(3) 運営管理の取組方針	
(4) 安全・安心な公園への取組について	
(5) 改修・再整備の取組について	
(6) 新規整備の取組方針	
IV 図面・写真	48-16
現況平面図	
周辺土地利用図（空中写真）	
周辺土地利用図（地図）	
宇喜田公園の現況写真	
<資料編>	48-20
資料1 パークマネジメントマスタープランと公園別マネジメントプランについて	
資料2 宇喜田公園に関する資料	



はじめに

「宇喜田公園マネジメントプラン」は、平成 27 年 3 月に改定された「パークマネジメントマスタープラン」における新たな東京の公園づくりの理念や目標、本公園の基本理念や時代の要請、ならびに過去 8 年間の本公園における公園づくりの取組成果等を踏まえ、今後新たな 10 年間を見据えた公園づくりに必要な目標を設定し、当該目標を実現するための計画・整備・管理に係る基本的な取組方針を定めたものです。

また、本マネジメントプランは固定的なものではなく、目標や計画は継続的に見直し・改善を図るとともに、社会経済情勢の変化等への対応が必要となった場合には、柔軟に必要な事項等について再検討を行い、適宜見直し改善を行っていくものです。

I 宇喜田公園の基礎的事項

1 都市計画等

(1) 都市計画の概要

- ・名称 東京都市計画公園第68号宇喜田公園
- ・位置 江戸川区北葛西二・三丁目及び宇喜田町各地内
- ・面積 20.0ha
- ・種別 運動公園
- ・決定告示 (当初) 昭和32年12月21日 建設省告示第1689号

(2) 宇喜田公園の基本的な性格・役割

宇喜田公園は、区部東部に位置している。少年野球のできる多目的広場やフラワープロムナードなどが整備されており、都市計画委区域内にあり隣接する江戸川区立行船公園内の自然動物園や釣り池、日本庭園等の施設とあわせて、さまざまな利用が可能となっている。

なお、東京都地域防災計画及び江戸川区地域防災計画により防災上の重要な位置付けを持っている。

2 過去の取組の成果等

当初「宇喜田公園マネジメントプラン(H18)」における重点目標に係る過去8年間の取組およびその成果等は、以下のとおりである。

○身近なレクリエーションによる公園の活性化

子どもの利用が多い公園の特性に対応し、人力車の搭乗体験、草笛教室などを実施するとともに、隣接する行船公園がスポーツ広場で開催するイベントに参加して緑化啓蒙を行った。また、近隣住民による花壇ボランティアとの協働で四季ごとの花を咲かせるなど、公園の魅力向上が図られた。

○その他の目標

- 0.6haが新規開園され、緑の拠点の形成が進んだ。
- 現地に管理所はないが、頻繁な巡回により犬のノーリードへの指導を行った。

3 社会状況等の変化

(1) 社会経済情勢

- ・ 2020 年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定
- ・ 平成 23 年 3 月の東日本大震災の発生
- ・ 生物多様性条約締結国会議の平成 22 年日本開催など、地球環境への意識の高まり
- ・ 少子高齢化の進行による利用形態の変化

(2) 関連する行政計画等

- ・ パークマネジメントマスタープラン（平成 27 年 3 月）
- ・ 都市計画公園緑地の整備方針（改定）（平成 23 年 12 月）
- ・ 緑の新戦略ガイドライン（平成 18 年 1 月）
- ・ 東京都長期ビジョン（平成 26 年 12 月）
- ・ 東京都地域防災計画（平成 26 年 7 月）
- ・ 江戸川区地域防災計画（平成 25 年 3 月）
- ・ 港区景観計画（平成 21 年 8 月）
- ・ 東京都福祉のまちづくり推進計画（平成 26 年 3 月）

Ⅱ 宇喜田公園の開園概要

1 開園区域の概要

(1) 開園の概要

名称 都立宇喜田公園（うきたこうえん）
開園日 平成14年4月1日
開園面積 59,812.58㎡（平成26年10月1日現在）
公園種別 運動公園
所在地 江戸川区北葛西三丁目、宇喜多町
アクセス 都営地下鉄新宿線「船堀」、東京メトロ東西線「西葛西」

(2) 主な公園施設

フラワープロムナード、少年野球広場、草花広場、ガーデンパーク、遊び場広場、ガーデンロード、スポーツ広場、ファミリー広場、東入口広場、西入口広場、駐車場（有料・24時間）

2 利用状況等

(1) 利用概況

少年スポーツの団体利用が多い。また、隣接する江戸川区立行船公園と一体的に利用され、散策や犬の散歩等、憩いのための利用も多い。

(2) 利用者動向（推計値）

25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
年間総数 (人)	13,637	15,088	10,755	8,376	8,784	10,536
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
149,348	11,462	15,688	11,699	13,951	8,951	20,421

(3) 主な活動団体

該当なし

(4) 主な催し物開催状況

「どんぐりイベント（どんぐり細工展示、工作、どんぐりマップ配布）」「人力車による園内ツアー」などが行われた。

Ⅲ 宇喜田公園の目標と取組方針

1 むこう10年間を見据えた主な目標

本公園の基本理念、および社会状況の変化等の内容を踏まえ、むこう10年間を見据えた取組の中で本公園が目指す主な目標を次のように定める。

なお、本目標及び各方針の実現に向けた具体の数値目標については、事業計画等の作成時に状況に応じそれぞれ適切に設定し、マネジメントサイクルのなかで見直し等行っていく。また、【 】内には、関連するパークマネジメントマスタープランのプロジェクト名を記載した。

■目標1：地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園

【プロジェクト4 防災公園の機能強化プロジェクト】

地震発生時の防災機能を発揮するため、下記の防災上の位置づけをふまえ、防災訓練など災害発生を想定した取組や、非常用の発電設備等の導入による防災関連施設の更なる機能強化・充実を図る。

- ・東京都地域防災計画による指定
避難場所（全域）
- ・江戸川区地域防災計画による指定
避難場所（全域）

◎主な取組確認項目：防災施設整備の実績、防災訓練等の実績

■目標2：東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園

【プロジェクト6 水と緑の骨格軸形成プロジェクト】

東京をうるおいのある緑豊かな都市としていくため、水と緑の骨格を形成する公園の整備を進めていく。

◎主な取組確認項目：新規開園面積

■目標3：スポーツによる健康づくりの場となる都立公園

【プロジェクト9 都立公園の魅力向上プロジェクト】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、スポーツ活動の機運を盛り上げ、都民の健康づくりを進めるため、運動施設や広場を活用した多様なイベント等を開催していく。

◎主な取組確認項目：スポーツによる健康づくりの取組

2 取組方針

本公園が目指すべき主な目標を実現するため、利用者の満足度向上を念頭に、管理や整備等にかかわる取組方針について、安全・安心や環境への取組等にも考慮したうえで次のとおり定める。

(1) ゾーン別基本方針

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンについて現況等も踏まえ機能・目的・自然的環境等により類型化し、ゾーン毎の基本方針を定める。

なお、ゾーン別基本方針は、原則として開園区域を対象に定めるものとし、新規開園区域があった場合は、整備内容等を踏まえ、必要に応じ追記等を行う。

A：多目的広場ゾーン

- ・草地の広場とスポーツ広場のあるゾーン
子どもの利用が中心であり、安全で快適な利用に対応していく。
なお、かまどベンチや防災井戸、仮設トイレ等の設置されており、機能を維持していく。
- ・少年野球広場とスポーツ広場のあるゾーン
小・中学生の団体利用に優先して開放している広場である。芝生のスポーツ広場は、団体利用が無い時は個人利用が可能となり、休息、散策や軽スポーツなどの利用に対応していく。

D：入口広場ゾーン

- ・主要な出入口ゾーン
東入口広場、西入口広場は、公園の主要な出入口であり、公園案内等を適切に行っていく。

E：休息・散策ゾーン

- ・フラワープロムナード・ガーデンパーク・ガーデンロードのあるゾーン
フラワープロムナード、ガーデンパーク、ガーデンロード等は、修景ゾーンとして通路を中心に景観木の並木や季節の変化に富む灌木類を多く配植していることから、景観に配慮した植栽管理を行っていく。

M：駐車場ゾーン

- ・駐車場のゾーン。
案内機能の充実等を図り、車利用だけでなく、その他の来園者の安全にも対応していく。

O：外縁部ゾーン

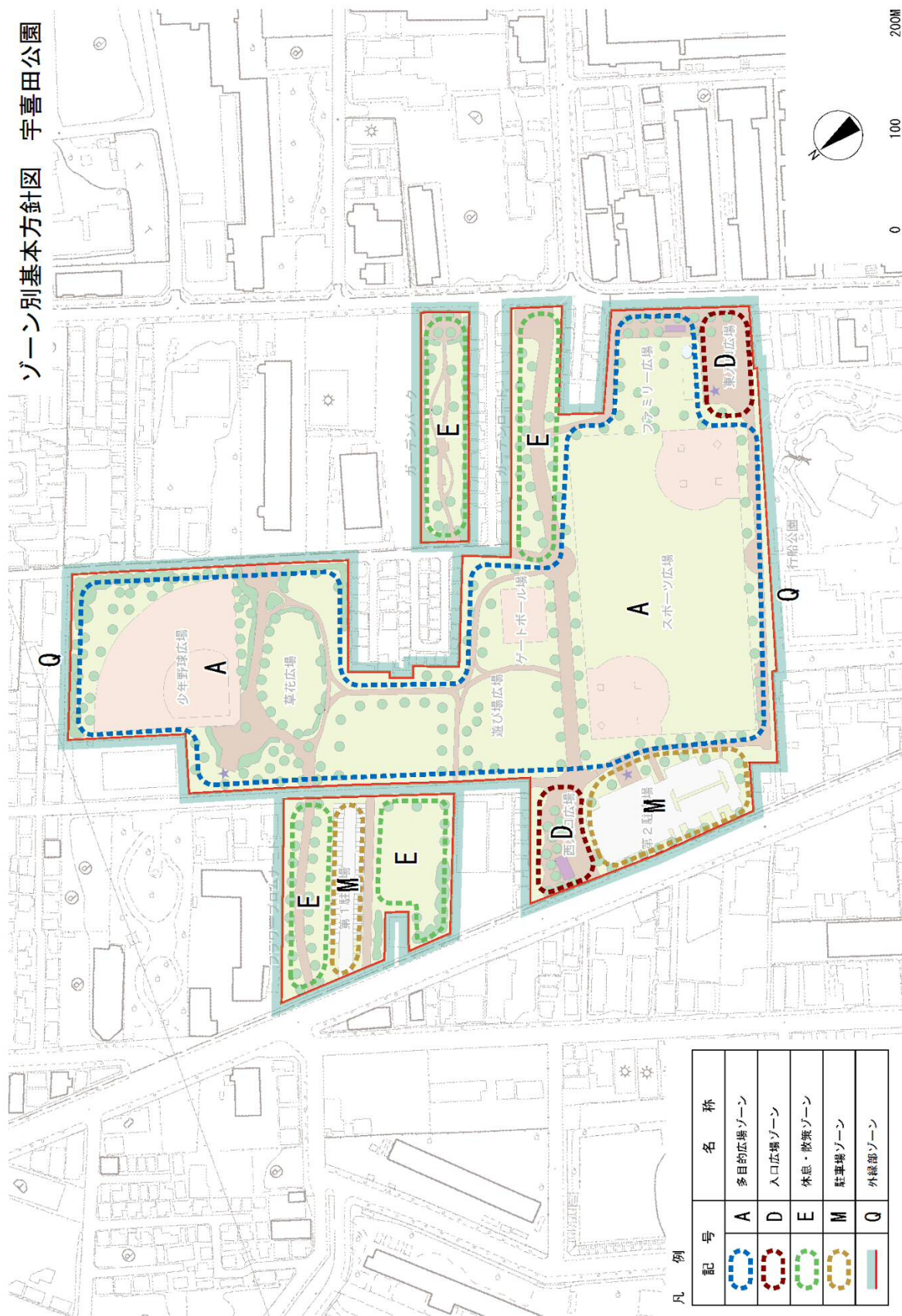
- ・周辺地域と接触する公園外縁部
本公園の外縁部で、幹線道路に面する所では、道路植栽等と一体的に良好な沿道景観の形成を図り、区画道路を介して住宅地等に面する所では、見通しを確保し、住宅地等に対する良好な景観の提供を図っていく。住宅地等と接する箇所では景観面のほか、落ち葉や落枝、越流水などに対応していく。

【ゾーンについて】

公園別のマネジメントプランでは、都立公園共通のゾーン区分を下表のように定めた。
したがって、該当するゾーンがない場合には、そのゾーンの記載がない。

記号	区分	主な特性・機能
A	多目的広場ゾーン	多目的広場、草地広場、芝生広場、運動広場など、多目的な利用ができるゾーン。（バーベキュー広場、キャンプ広場、デイキャンプ広場などを含む。）
B	遊具広場ゾーン	児童遊具、健康遊具など、各種の遊具を中心としたゾーン。
C	イベント広場ゾーン	イベント利用に適した広場や施設などがあるゾーン。
D	入口広場ゾーン	シンボリックな入口広場として集散の場となるゾーン。
E	休息・散策ゾーン	散歩道、遊歩道、プロムナードなど、休息や散策の場となるゾーン。
F	尾根道散策ゾーン	丘陵地の尾根道など、散策の場となるゾーン。
G	スポーツゾーン	野球場、テニスコート、サッカー場、各種競技場、プール、体育館など、各種のスポーツの場となるゾーン。
H	展示・学習ゾーン	美術館、資料館、遺跡、城址など、各種の教養の場となるゾーン。
I	修景ゾーン	修景池、展望広場などの修景施設、または、草花、花壇、桜並木などの修景機能があるゾーン。
J	樹林ゾーン	外周部の樹林など、遮蔽機能等があるゾーン。
K	環境共生・保全ゾーン	多様な動植物が生息している豊かな自然環境を形成しているゾーン。
L	水辺・親水ゾーン	流れ、池、じゃぶじゃぶ池など、水に親しむことができるゾーン。
M	駐車場ゾーン	駐車場があるゾーン。
N	管理ヤードゾーン	管理ヤードとして利用するゾーン。
O	宿泊ゾーン	宿泊を目的とした施設があるゾーン。
P	植物園ゾーン	植物園（有料）として運営しているゾーン。
	(庭園関係)	「大泉水景観ゾーン」「芝生広場景観ゾーン」「富士山景観ゾーン」「山中の景観ゾーン」「田園景観ゾーン」など、各庭園に各種のゾーンがある。
Q	外縁部ゾーン	民有地や公道等に接する公園外縁部となるゾーン。

ゾーン別基本方針図 宇喜田公園



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2500の地図図を使用して作製したものである。(承認番号) 28都基交第350号

(2) 維持管理の取組方針

維持管理の取組方針については、すべての公園・緑地に共通する基本的考え方として基本事項を示し、当該公園・緑地の維持管理において、特に留意すべき事項を留意事項として提示する。

1) 維持管理の基本事項

都立公園は、自然環境保全、防災、景観形成、レクリエーションなど多くの機能を有しており、首都東京の風格を高め、安全で快適な都民生活に不可欠な都市施設である。こうした機能を発揮させるためには、適正な維持管理により、公園施設の機能を確保する。

そのためには、公園の中心的・特徴的要素となる植物をはじめ、その基盤となる土や水、そこに生息する動植物なども含め、総体として守り育ていく。あわせて、公園利用者に対しては、公園を清潔に保ち、快適な利用を提供するとともに、日常的な点検等通じて、樹木や施設の異常を早期に発見し、速やかに対応していくことで安全を確保し、安心して利用してもらう。また、防災トイレなどの防災関連施設は、発災時に円滑に使用できるよう、日頃から点検等を行っていく。

2) 本公園の維持管理における留意事項

①植栽管理

主要施設である少年野球広場やスポーツ広場については、球技利用のほか散策や休息、ピクニック等、自由度の高い芝生広場となるよう、利用状況に応じた管理を行う。

(3) 運営管理の取組方針

運営管理の取組方針については、すべての公園・緑地に共通する基本的考え方として基本事項を示し、当該公園・緑地の運営管理において、特に留意すべき事項を留意事項として提示する。

1) 運営管理の基本事項

① 基本的な事項

都民のライフスタイルの多様化や高度化、少子高齢化の進展などにより、新たな時代のニーズに応じた公園の管理運営が求められている。公園やその周辺地域の特性を踏まえ、地域団体などと連携し、環境の変化や新たなニーズに応えるための運営管理を行う。

② 公園の適正な管理

都市公園法や東京都立公園条例等に基づき、公の施設として公平・公正な取扱いをするとともに、公園利用者が安全かつ快適に公園を利用できるよう、適正な管理を行う。

③ 利用促進

公園利用者から寄せられる様々な要望や苦情等を通じてニーズを的確に把握し、幅広い利用者層や利用目的に応じた質の高いサービスを継続的に提供するとともに、公園の魅力を発信し、公園利用の促進を図る。

2) 本公園の運営管理における留意事項

①行船公園との連携

隣接する江戸川区立行船公園との連携を図り、利用者の利便向上のための取組を行っていく。

②スポーツ等による健康づくり

少年野球広場やスポーツ広場などの広場を活用した、緑の中で子供から高齢者まで誰もが気軽に参加できる多様なイベントの開催などにより、都民の健康づくりの場を提供するとともに、東京でのオリンピック・パラリンピック開催に向けたスポーツの機運を盛り上げていく。

(4) 安全・安心な公園への取組について

地震・台風・大雨などによる被害や感染症等の発生、落枝・倒木や公園施設の老朽化に起因する事故の発生に際し、公園の利用者や周辺住民が安心して公園を利用できるよう、次の通り対応していく。

1) 地震災害

- ・東京都地域防災計画など、既定計画における役割の確認
- ・巡回点検・応急対応等のマニュアルの理解と実践
- ・発災時を想定した参集訓練や通信訓練等の実施

2) 気象災害（台風、大雨、積雪等）

- ・巡回点検・応急対応等のマニュアルの理解と実践
- ・情報連絡体制の構築
- ・被害軽減のための事前処置の準備

3) 蚊媒介感染症など

- ・関係部署と連携しつつ迅速・適切に対応

4) 落枝・倒木

- ・日常的巡回時の異常把握と応急処置
- ・倒木等の恐れのある樹木の定期点検
- ・計画的な樹木手入れ等の実施

5) 施設の損壊等

- ・日常的巡回時の異常把握と応急処置
- ・公園利用者とのコミュニケーションによる不具合の把握
- ・計画的な補修や取り換え等の実施

6) 遊具

- ・事故を未然に防ぐための日常的な点検の徹底による早期発見
- ・専門業者による精密点検の定期的な実施
- ・事故事例の把握と緊急点検の実施

(5) 改修・再整備の取組について

公園の改修・再整備については、本園の性格・役割や目標に照らし、長期的な視点に立つことを基本とし、改修・再整備の対象となる施設の現況特性等に応じ、個別に方針を定めて行うものとする。

①災害時対応のための整備

災害時対応のための機能強化・充実に向け、非常用の発電設備等の防災関連施設の計画的な整備を行う。

②誰もが利用しやすい公園の整備

バリアフリーやユニバーサルデザイン、多言語表記のための計画的な整備を行う。

(6) 新規整備の取組方針

本公園の計画区域のうち、未供用区域の事業化については、原則、「都市計画公園・緑地の整備方針（改定）」（平成23年12月、東京都・特別区・市町）に設定した「優先整備区域（新規事業化区域）」について行うものとし、平成32年までに事業化を図っていく。

なお、事業化の対象区域は、概ね次のとおりであるが、今後の改定により見直されることもある。また、整備にあたっては、本公園の役割等を踏まえ、基本計画等に基づいて行っていく。

1) 優先整備区域「事業促進区域」：300㎡

江戸川区北葛西三丁目

2) 優先整備区域「新規事業化区域」：10,200㎡

江戸川区北葛西三丁目、宇喜田町

注)：「事業促進区域」：既に事業認可を取得済の区域（用地未取得地含む）

「新規事業化区域」：新たに事業認可を取得する区域（既に認可取得済の区域あり）

IV 図面・写真

現況平面図 宇喜田公園



- 凡例(記号)
- : トイレ
 - ★ : 身障者対応トイレ
 - : 休憩舎
 - ▲ : 集合遊具
 - : 管理所
 - : 売店
 - : その他建物

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都隣尺1/2500の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 26都庁基文第350号

周辺土地利用図（空中写真）

宇喜田公園



- : 開園区域
- : 都市計画決定区域

平成22年2月撮影

周辺土地利用図（地図）

宇喜田公園



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2500の地形図を使用して作製したものである。（承認番号）26都市基交第350号

- : 公園緑地
- : 学校
- : 特徴的な建物（神社仏閣など）
- : 開園区域

- : 高速道路
- : 鉄道



宇喜田公園の現況写真 【平成26年12月撮影】

①東入口広場



⑤草花広場



②スポーツ広場



⑥少年野球広場



③ゲートボール場



⑦第1駐車場横草地広場



④遊具広場



⑧西入口広場



<資料編>

資料1 パークマネジメントマスタープランと公園別マネジメントプランについて

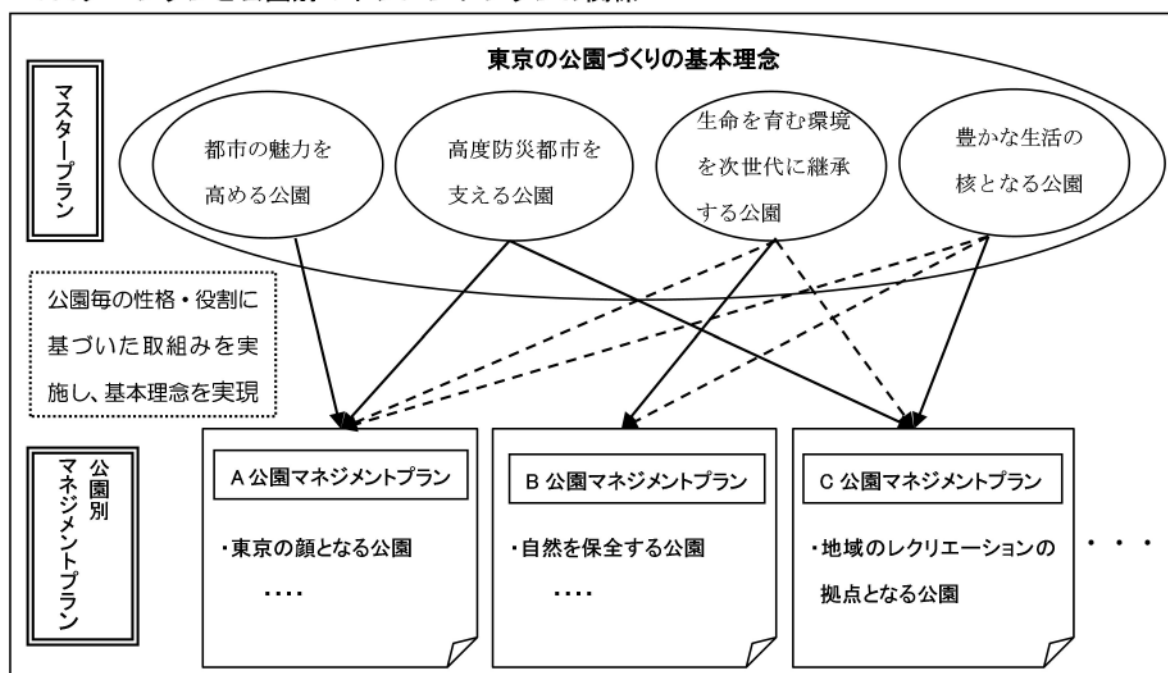
- ・パークマネジメントマスタープランは、「従来の行政主導の事業手法から、都民・NPO・企業と連携しながら都民の視点に立って公園を整備・管理する『パークマネジメント』へ転換すべき」との東京都公園審議会答申を踏まえ、平成16年8月に策定された。
- ・当初マスタープラン策定後10年の社会状況の変化、当初マスタープランの実施状況、東京都長期ビジョンの策定を踏まえ、平成27年3月改定版では、目標に対するプロジェクトを下表のように掲げている。
- ・当該目標に対するプロジェクトについて、宇喜田公園が担うことになるプログラムには◎を、宇喜田公園が関係するプログラムには○を付した。

基本理念	プロジェクト	プログラム		
基本理念1 都市の魅力 を高める公園	プロジェクト1 国際的な観光拠点となる公園 づくりプロジェクト	(1)東京の歴史と文化を伝える公園の再整備	東京の歴史と文化を伝える公園の再整備	
		(2)オリンピック・パラリンピック開催に向けた公園の整備	オリンピック・パラリンピック競技会場等が配置される公園の整備 オリンピック・パラリンピックのレガシーとなる公園の整備	
		(3)誰もが利用しやすい公園づくり	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進 多言語表記、無料Wi-Fi利用環境等の充実	◎ ◎
		(4)快適な「おもてなし」空間の形成	快適な「おもてなし」空間の形成	
	プロジェクト2 庭園・植物園・動物園での「おもてなし」プロジェクト	(1)庭園・植物園・動物園での「おもてなし」	文化財庭園での伝統文化による「おもてなし」	
			東京の日本庭園の連携による魅力の発信 植物園・動物園での「おもてなし」	
			国内外からのお客様への案内機能の強化	
		(2)文化財庭園の保全・再生	文化財庭園の施設の復元・修復 風格ある庭園景観の保全	
	(3)植物園・動物園の再生	植物園・動物園の再生		
	(4)動植物の交換や技術支援を通じた都市外交	動植物の交換や技術支援を通じた都市外交		
	プロジェクト3 公園の多機能利用と民間の活力導入促進プロジェクト	(1)公園の多機能利用、民間ノウハウ等を活かした施設づくり	公園の多機能利用と官民連携によるにぎわいの創出	
			民間のノウハウ等を活かした魅力ある施設づくり 広告掲示を認めることによる民間資金の導入	
		(2)規制緩和公園における民間イベントの積極的な誘致	規制緩和公園における民間イベントの積極的な誘致	
(3)指定管理者制度の運用改善によるサービスの向上	指定管理者制度の運用改善によるサービスの向上	○		
基本理念2 高度防災都市を支える公園	プロジェクト4 防災公園の機能強化プロジェクト	(1)防災公園の整備	救出・救助活動の拠点や避難場所となる公園の防災関連施設の充実 非常用発電設備の導入	◎ ◎
		(2)災害時における公園の有効活用と防災訓練の充実	災害時における公園の有効活用と防災訓練の充実	◎
		(3)公園内の建築物、街路樹の災害対策	公園等の建築物の耐震化 街路樹防災機能の強化	
	プロジェクト5 都立公園の安全・快適プロジェクト	(1)公園樹木の戦略的メンテナンスによる安全性・快適性の向上	公園樹木の戦略的メンテナンスによる安全性・快適性の向上	○
		(2)ホームレスの自立支援と公園機能の回復	ホームレスの自立支援と公園機能の回復	
(3)安全・安心な公園とするための取組み	気象災害や感染症等に備えた危機管理の強化 公園施設の適切な点検と維持・更新 環境負荷の少ない公園づくり	○ ○ ○		

基本理念	プロジェクト		プログラム	
基本理念3 生命を育む環境を次世代に継承する公園	プロジェクト6 水と緑の骨格軸形成プロジェクト	(1)水と緑の骨格軸の拠点となる公園、街路樹の形成	都立公園による緑の拠点の形成	◎
			既存公園の再生整備	
		緑の拠点をつなぐ街路樹の充実		
		(2)多様な主体と連携した緑のネットワークの形成	道路・河川との連携による公園整備の推進	
			都心部等における緑のネットワーク形成の推進	
	プロジェクト7 都立公園の生物多様性向上プロジェクト	(1)生物生息・生育空間の整備と管理	生物生息・生育空間の保全・再生・創出	
			公園内の動植物の保全・育成活動の充実	
		(2)動植物園・水族園での野生動植物の保護増殖、普及啓発	植物多様性センターにおける保護増殖	
			ズーストック計画の推進	
	プロジェクト8 自然とのふれあいプロジェクト	(1)自然体験活動、環境教育の拠点としての公園等の活用	自然観察会、環境教育プログラム等の充実	○
多摩の森林の大切さを公園でアピール			○	
(2)自然とのふれあいの場としての丘陵地の公園緑地づくり		里山の環境を守る丘陵地公園の整備		
		自然の保全・回復に向けた雑木林の更新		
基本理念4 豊かな生活の核となる公園	プロジェクト9 都立公園の魅力向上プロジェクト	(1)都民ニーズの把握と施策への反映	都民ニーズの把握と施策への反映	○
			ヘブンアーティスト、野外劇などへの場の提供	
		(2)公園の魅力発掘事業の展開	ライトアップ、大規模花壇による魅力の創出	○
			公園利用のアイデア募集	○
	プロジェクト10 パートナーシップ推進プロジェクト	(3)子どもの育成、スポーツによる健康づくりの場としての公園利用	子どもの心身の育成と多世代交流の場づくり	
			公園でのスポーツによる健康づくり	◎
		(1)公園情報の受発信と管理所機能の強化	公園情報の受発信と管理所機能の強化	○
			公園・動物園サポーター制度の実施	○
(2)都民からの寄付の受入れ	都民や企業からの寄付による公園施設等の設置	○		
	(3)都民・NPO・企業等との連携による公園づくりの推進	ボランティア活動と都民協働のさらなる推進	○	
		鉄道会社、旅行会社、地域の文化施設等との連携の推進	○	
		広域連携による丘陵地等の総合的な保全・利活用		
(4)都立公園を支える人材の育成	都立公園を支える人材の育成	○		

- ・また、パークマネジメントマスタープランと本プランとの関係は下図のとおりである。

マスタープランと公園別マネジメントプランの関係



資料2 宇喜田公園に関する資料

(1) 公園の沿革

昭和 32 年 12 月 1957 年	建設省告示第 1689 号運動公園として都市計画決定（当初）
平成 14 年 4 月 2002 年	開園 1.75ha（少年野球広場、第 1 駐車場など）
平成 15 年 5 月 2003 年	追加開園 0.41ha（西入口広場、第 2 駐車場など）
平成 15 年 12 月 2003 年	追加開園 0.87ha（遊び場広場、ガーデンロードなど）
平成 16 年 6 月 2004 年	追加開園 2.34ha（スポーツ広場、ガーデンパークなど）
平成 21 年 6 月 2009 年	追加開園 0.45ha
平成 22 年 6 月 2010 年	追加開園 0.15ha

(2) 公園の自然・社会環境

1) 自然環境

- ・公園周辺の地形は平坦地で、ほとんどが満潮面（A. P. +2.0m）以下の地域である。宇喜田地区は江戸の初めに葦原を開拓した場所で、高低差が少なく地下水位は高い。
- ・公園周辺の地層は、沖積層が 40m 以上ある。
- ・かつては低平で湿潤な所が多く（葛西水郷）、水性植物の宝庫になっていた。地下水が高く樹木に乏しい。

2) 社会的環境

- ・最寄り駅となる東京メトロ東西線西葛西・葛西駅周辺は、交通の便を活かして、マンション・集合住宅が多い。
- ・新興の市街地のため、個人商店は少なく、大型店舗（スーパーマーケット）が多い。
- ・環状 7 号線・放射 16 号・放射 31 号・浦安街道・広域幹線道路網は整備されている。
- ・大型の工場跡地には民間マンション、小規模な工業跡地にはミニ開発と、交通の便を生かした開発などが考えられる地域である。
- ・地区内のスポーツレクリエーション施設は、スポーツセンター・江戸川区球場さらに、ニュータウン区域に陸上競技場・プールガーデンがあり、運動施設は比較的充実している。

(3) 園内のトピックス

①少年野球広場

少年野球としては十分の広さを有する野球場が整備されている。小・中学生の利用に限定して開放しており、休日は少年野球チームの練習等でにぎわっている。

②草花広場

散策や犬の散歩等によく利用されている。

③ゲートボール場

2つの団体が活動している。活動していない時は周囲の遊び場広場と一体的にレクリエーションに利用されている。また、フリーマーケットが休日に開催されたりしている。

④スポーツ広場

軟式の野球場が2面整備されている。江戸川区で団体登録を受け付けており、団体利用がメインとなっている。土・日は予約でいっぱいの状況となっている。

⑤フラワープロムナード、ガーデンパーク、ガーデンロード、ファミリー広場、東入口広場、西入口広場

特に決まった利用はなく、レクリエーション等自由に利用されている。

⑥防災施設

非常用トイレ・かまどベンチ・井戸・給水所・災害対応パーゴラ等整備されている。

(4) 利用状況等データ

1) 公園占用の状況

(件)

項目	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
写真撮影	0	2	0	0	0
映画等の撮影	0	1	2	0	1
その他	21	8	14	48	66

2) 主な催し物（平成25年度実施分）

・指定管理者による催し

種別	No.	事業名	実施期間	参加人数(人)
イベント	1	どんぐりイベント	10月	200
自主事業	1	草笛教室	11月	100
	2	人力車による園内ツアー	6月	100

・指定管理者以外による催し

その他	1	運動会	10月	—
-----	---	-----	-----	---